

4 地域密着型サービス

(1) 現状及び今後の方針

【現状】

地域密着型サービスの利用状況をみると、地域密着型通所介護の利用人数が一番高く、次いで、認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護、地域密着型老人福祉施設入所者生活介護、小規模多機能型居宅介護の順となっており、利用者数も年々増加しています。

(表 4-40) 地域密着型サービスの利用状況

区 分		認知症対応型共同生活介護		認知症対応型通所介護		小規模多機能型居宅介護		地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	地域密着型通所介護
		介護	予防	介護	予防	介護	予防	介護	介護
平成 24 年度 月平均	利用人数	220	1	54	2	36	6		
平成 25 年度 月平均	利用人数	218	1	60	1	36	4		
平成 26 年度 月平均	利用人数	222	5	69	3	39	4	15	
平成 27 年度 月平均	利用人数	219	1	75	1	42	2	64	
平成 28 年度 月平均	利用人数	242	1	93	1	61	3	82	378
平成 29 年度 9 月実績	利用人数	260	3	99	0	65	3	84	422

【今後の方針】

高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、地域ニーズに対応したサービス量を見込み、必要とされる地域密着型サービスの基盤整備を図っていきます。

(2) サービス別見込量

地域密着型サービスの見込みにあたっては、類似するサービスの利用状況や認定者数を勘案しながら、各サービスの利用を推計します。

①認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

認知症の方が、できるだけ在宅で能力に応じ自立した日常生活を営めるように、デイサービスセンター等において日常生活の世話、機能訓練を行います。

また、このサービスは認知症の症状進行の緩和に資すよう、目標を設定し計画的に行います。

【第6期計画の達成状況】

介護については、計画を上回ることができましたが、予防については、計画を下回りました。

なお、市内の事業所数は4事業所となっています。

(表 4-41)

区 分		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
第 6 期計画	利用人数 (月)	74	3	85	4	94	5
	回数 (月)	841	16	1,450	21	1,806	26
実績	利用人数 (月)	75	1	93	1	111	0
	回数 (月)	740	4	892	3	1,116	0
達成率	利用人数 (月)	101.3%	33.3%	109.4%	25.0%	118.0%	0.0%
	回数 (月)	87.9%	25.0%	61.5%	14.2%	61.7%	0.0%

※ 平成 29 年度は見込量。

【サービスの見込量】

介護については、今後も増加していくものと見込みますが、予防については、実績がほとんどないため、見込みを行いませんでした。

(表 4-42)

区 分		平成 30 年度		平成 31 年度 2019 年度		平成 32 年度 2020 年度	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
第 7 期計画	利用人数 (月)	130	0	151	0	174	0
	回数 (月)	1,354	0	1,620	0	1,916	0

区 分		平成 37 年度 2025 年度	
		介護	予防
将来推計	利用人数 (月)	228	0
	回数 (月)	2,770	0

②小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

「通い」を中心として、要介護（要支援）者の様態や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせるサービスを提供することで、居宅での生活を継続的に支援するサービスです。

【第 6 期計画の達成状況】

1 事業所が整備されましたが、計画を達成することはできませんでした。
なお、市内の事業所数は 3 事業所となっています。

(表 4-43)

区 分		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
第 6 期計画	利用人数 (月)	48	6	69	9	90	12
実績	利用人数 (月)	42	2	61	3	88	4
達成率	利用人数 (月)	87.5%	33.3%	88.4%	33.3%	97.7%	33.3%

※ 平成 29 年度は見込量。

【サービスの見込量】

このサービスは在宅生活を送る上でニーズが高く需要が見込まれることから、利用者は増加していくと見込みます。

(表 4-44)

区 分		平成 30 年度		平成 31 年度 2019 年度		平成 32 年度 2020 年度	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
第 7 期計画	利用人数 (月)	114	5	139	7	143	8

区 分		平成 37 年度 2025 年度	
		介護	予防
将来推計	利用人数 (月)	178	11

③認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

(グループホーム)

比較的安定状態にある認知症の要介護（要支援2）者が入居し、認知症対応型共同生活介護計画に基づき、共同生活の中で入浴・排泄・食事等の日常生活の世話や機能訓練を行うサービスです。

【第6期計画の達成状況】

第6期計画期間中に2事業所が整備されました。実績については、介護、予防ともに計画を下回りました。

なお、市内の事業所数は15事業所でベッド数は279床です。

(表 4-45)

区 分		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
第6期計画	利用人数(月)	255	5	273	6	301	7
実績	利用人数(月)	219	1	242	1	275	1
達成率	利用人数(月)	85.8%	20.0%	88.6%	16.6%	91.3%	14.2%

※ 平成29年度は見込量。

【サービスの見込量】

認知症高齢者の増加が予想されることから、増加すると見込みます。

(表 4-46)

区 分		平成30年度		平成31年度 2019年度		平成32年度 2020年度	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
第7期計画	利用人数(月)	317	2	329	2	349	2

区 分		平成37年度 2025年度	
		介護	予防
将来推計	利用人数(月)	413	3

④定期巡回・随時対応型訪問介護看護

重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回訪問と随時の対応を行うサービスで、平成24年度に創設されたサービスです。

【第6期計画の達成状況】

平成24年度から新たに創設されたサービスで、一定の需要があると思われることから計画で見込みました。市内に事業所はありませんが、平成28年度の利用人数1名は住所地特例被保険者分の利用実績となります。

(表 4-47)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
		介護	介護	介護
第6期計画	利用人数(月)	5	10	15
実績	利用人数(月)	0	1	0
達成率	利用人数(月)	0.0%	10.0%	0.0%

※ 平成29年度は見込量。

【サービスの見込量】

このサービスは、在宅生活を送る上でニーズが高く需要が見込めることから、引き続き事業所の整備に努め、利用者を見込みます。

(表 4-48)

区 分		平成30年度	平成31年度 2019年度	平成32年度 2020年度
		介護	介護	介護
第7期計画	利用人数(月)	0	10	21

区 分		平成37年度 2025年度
		介護
将来推計	利用人数(月)	45

⑤看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）

「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を合わせて提供する複合型のサービスで、平成27年度から名称やサービスの内容が「複合型サービス」から変更になったサービスです。

1つの事業所からサービスが組み合わされて提供されるため、サービス間の調整が行いやすく、柔軟なサービス提供が可能です。また、小規模多機能型居宅介護と訪問看護を一体的に提供するため、医療ニーズの高い要介護者への支援を充実することが可能となります。

【第6期計画の達成状況】

複合型サービスは平成24年度に創設され、一定の需要があると思われることから計画で見込みましたが、現在指定している事業所はありません。

(表 4-49)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度
		介護	介護	介護
第6期計画	利用人数(月)	0	8	12
実績	利用人数(月)	0	0	0
達成率	利用人数(月)	0.0%	0.0%	0.0%

※ 平成29年度は見込量。

【サービスの見込量】

看護小規模多機能型居宅介護は、実績はないが、在宅生活を送る上でニーズが高く需要が見込めることから、事業所の整備に努め、第7期計画において利用者を見込みます。

(表 4-50)

区 分		平成30年度	平成31年度 2019年度	平成32年度 2020年度
		介護	介護	介護
第7期計画	利用人数(月)	0	10	21

区 分		平成37年度 2025年度
		介護
将来推計	利用人数(月)	45

⑥地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

居宅の生活への復帰を念頭において、日常生活の世話、機能訓練、健康管理と療養上の世話を行い、要介護者である入所者が能力に応じて自立した日常生活を営めることを目指します。

なお、地域密着型介護老人福祉施設とは、定員 29 名以下の特別養護老人ホームのことをいいます。

【第 6 期計画の達成状況】

平成 27 年度に既存の介護老人福祉施設 1 施設の一部（ユニット型 10 床）が地域密着型に移行となったことから、利用人数は増えてきましたが、計画達成には至りませんでした。

(表 4-51)

区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
		介護	介護	介護
第 6 期計画	利用人数 (月)	84	84	84
実績	利用人数 (月)	64	82	82
達成率	利用人数 (月)	76.1%	97.6%	97.6%

※ 平成 29 年度は見込量。

【サービスの見込量】

今後の見込みについては、事業所の整備状況によりますが、横ばいの状況が続くと見込みます。

(表 4-52)

区 分		平成 30 年度	平成 31 年度 2019 年度	平成 32 年度 2020 年度
		介護	介護	介護
第 7 期計画	利用人数 (月)	82	82	85

区 分		平成 37 年度 2025 年度
		介護
将来推計	利用人数 (月)	102

⑦地域密着型通所介護

在宅の要介護者に対し、通所介護施設で入浴・食事の提供とその介護，日常生活の世話と機能訓練を行うサービスです。平成 28 年 4 月から通所介護事業所のうち小規模な事業所(定員 18 名以下)については地域密着型サービスに移行しました。

【第 6 期計画の達成状況】

第 6 期計画期間中の事業所数は 28 事業所で，利用定員は 383 人です。計画数には至りませんでした，達成率は経年での伸びがみられます。

(表 4-53)

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度
		介護	介護
第 6 期計画	利用人数 (月)	513	545
	回数 (月)	6,370	7,045
実績	利用人数 (月)	378	410
	回数 (月)	5,070	5,791
達成率	利用人数 (月)	73.7%	75.2%
	回数 (月)	79.6%	82.2%

※ 平成 29 年度は見込量。

【サービスの見込量】

利用ニーズの高いサービスであることから，今後の要介護者の増加に伴い，増加していくと見込みます。

(表 4-54)

区分		平成 30 年度	平成 31 年度 2019 年度	平成 32 年度 2020 年度
		介護	介護	介護
第 7 期計画	利用人数 (月)	441	463	483
	回数 (月)	6,533	7,162	7,716

区分		平成 37 年度 2025 年度
		介護
将来推計	利用人数 (月)	603
	回数 (月)	11,526

⑧地域密着型特定施設入居者生活介護

要介護者である入居者に、日常生活の世話や機能訓練と療養上の世話をを行い、地域密着型特定施設で能力に応じ自立した日常生活を営めるようにするものです。地域密着型特定施設とは、介護付き有料老人ホームやケアハウス等で、入居者が要介護者と配偶者等に限られる介護専用型特定施設のうち、入居定員が29名以下のものです。

市内には特定施設入居者生活介護の3事業所が開設し、現在101床が整備されており、利用者にはこれらの施設において当該事業同様に必要かつ十分な介護サービス等が提供されると見込めることから、第7期計画においては新たな整備は見込んでいません。

⑨夜間対応型訪問介護

夜間対応型訪問介護は、定期巡回と通報による随時対応を組み合わせたサービスですが、当該サービスの整備標準は人口規模20万人～30万人に1か所となっています。

第7期計画においては、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を見込んでいるため、夜間対応型訪問介護としては事業量を見込んでいません。